

## 【新燃岳】噴火警報発表経緯

平成22年

- 5月6日 噴火警戒レベルを2に引上げ（警戒範囲1km）
- 5月27日 小規模な噴火が発生  
（以後7月まで断続的にごく小規模～小規模噴火を繰り返す）

平成23年

- 1月19日 小規模な噴火が発生
- 1月26日 中規模な噴火が発生
- 1月26日 噴火警戒レベルを3に引上げ（警戒範囲2km）
- 1月27日 爆発的噴火が発生  
（以後3月まで断続的に爆発的噴火を繰り返す）
- 1月31日 警戒範囲を2kmから3kmに拡大
- 2月1日 警戒範囲を3kmから4kmに拡大
- 3月22日 警戒範囲を4kmから3kmに縮小

平成24年

- 6月26日 警戒範囲を3kmから2kmに縮小

平成25年

- 10月22日 噴火警戒レベル2に引下げ（警戒範囲1km）

平成29年

- 5月26日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）
- 10月5日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲1km）
- 10月11日 噴火警戒レベル3に引上げ（警戒範囲2km）小規模噴火が発生
- 10月15日 警戒範囲を2kmから3kmに拡大
- 10月31日 警戒範囲を3kmから2kmに縮小

平成30年

- 3月1日 警戒範囲を2kmから3kmに拡大
- 3月6日 爆発的噴火が発生
- 3月10日 警戒範囲を3kmから4kmに拡大
- 3月15日 警戒範囲を4kmから3kmに縮小
- 3月25日 5日ぶりに噴火が発生
- 3月29日 新燃岳の噴火警戒レベルを改正**
  - ・レベル2の警戒が必要な範囲：概ね2km、状況により1kmに
  - ・レベル3の警戒が必要な範囲：概ね3km、状況により4kmに
- 4月5日 爆発的噴火が発生
- 5月14日 38日ぶりに噴火が発生
- 6月22日 爆発的噴火が発生
- 6月27日 噴火が発生
- 6月28日 噴火警戒レベル2に引下げ（警戒範囲2km）

平成31年

- 1月18日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）
- 2月25日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲2km）
- 4月5日 噴火警戒レベル2に引下げ（活火山であることに留意）

令和1年

- 1月18日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲2km）
- 12月20日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）

令和2年

- 1月2日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲2km）
- 12月11日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）
- 12月25日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲2km）

令和3年

- 3月1日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）

令和4年

- 3月27日 噴火警戒レベル2に引上げ（警戒範囲2km）
- 8月19日 噴火警戒レベル1に引下げ（活火山であることに留意）**

### 【えびの高原（硫黄山）周辺】噴火警報発表経緯

平成26年

10月24日 噴火警報（火口周辺危険）発表（警戒範囲1km）

平成27年

5月26日 噴火予報（平常※）に引き下げ

平成28年

2月28日 噴火警報（火口周辺危険）発表（警戒範囲1km）

3月29日 噴火予報（活火山であることに留意）

#### 12月 6日 硫黄山噴火警戒レベル運用開始

12月12日 噴火警戒レベル2に引き上げ（警戒範囲1km）

平成29年

1月13日 噴火警戒レベル1に引き下げ（活火山であることに留意）

5月 9日 噴火警戒レベル2に引き上げ（警戒範囲1km）

10月31日 噴火警戒レベル1に引き下げ（活火山であることに留意）

平成30年

2月20日 噴火警戒レベル2に引き上げ（警戒範囲1km）

4月19日 硫黄山南側で250年ぶりに噴火が発生

4月19日 噴火警戒レベル3に引き上げ（警戒範囲2km）

4月26日 硫黄山西側500m付近ごく小規模な噴火が発生

5月 1日 噴火警戒レベル2に引き下げ（警戒範囲1km）

平成31年

4月18日 噴火警戒レベル1に引き下げ（活火山であることに留意）

※ 平成27年12月17日から、「噴火予報(平常)」が、「噴火予報(活火山であることに留意)」に改められた。

### 【御鉢】噴火警報発表経緯

平成30年

2月 9日 噴火警戒レベル2に引き上げ（警戒範囲1km）

3月15日 噴火警戒レベル1に引き下げ（活火山であることに留意）